

**Grand-Carteret, John. XIX^e siècle (en France) classes—mœurs—usages—costumes—
inventions.** Paris, Firmin-Didot, 1893. 774p. with illus. 29.3×20.0 cm <383.135-G>

Hiler p. 388 Colas 1284 Lipp. 1177

19世紀のフランス文化を多岐の部面から記録した774頁に及ぶ大冊。王や皇帝、ブルジョアジーから労働者階級に至るまでの生活と衣食住、宗教や社会思想などの精神生活、美術、音楽、文学などの芸術、劇場、舞踏、スポーツなどの娯楽、喫煙、サロン、カフェの風俗、交通、通信、医学などの自然科学的進歩といった総合的内容が含まれている。目次は次のとおりである。

第1章・19世紀の発達段階とエスプリ、第2章・経過、君主、公式の生活、第3章・階級、慣習、影響、社会理論、第4章・女性とその役割、第5章・幼年時代と母性、第6章・サロンとクラブ、第7章・市民の服飾と流行、第8章・服飾と軍隊の精神、第9章・劇場、第10章・公衆の娯楽、第11章・国民的祭典と式典、第12章・料理と食卓、レストランとカフェ、第13章・輸送と移動の手段、第14章・文学と室内装飾の趣味、第15章・近代の力、印刷、雑誌と広告、万博、第16章・新発明と薬、第17章・新しいパリ、第18章・世紀末

著述は独創的理論よりも事実の丹念な収集に焦点がおかれ、分野の広さと緻密な観察の記録が特色になっている。図版も豊富で、扉頁の着色写真、彩色図版16枚、487枚の単色の図版が含まれ、その多くはエッチング、リトグラフ、素描など様々な技法による原図を再現しているが、この中には珍しいものも少なくなく、本文を補って当時の情景を物語る重要な役割りを果している。

著者にはほかに『ドイツ女性』1887年、『半ズボンをはいた女性』1889年ごろ、『ドイツ、オーストリア、スイスの風習と風刺画』第2版1885年、『フランスの風習と風刺画』1888年ごろ、など風俗を扱ったものがあるが、本館には『服飾の優雅さ』*Les élégances de la toilette, robes, chapeaux, coiffures de style Louis XVI—directoire, empire, restauration* <383.135-G>、及び『歴史、生活、習慣、名所』*L'histoire, la vie, les mœurs, et la curiosité* <382.35-G-1~5>がある。(能沢)